

地域母子保健実習

I. 目的

地域の母子やその家族の保健ニーズを把握して、保健所、助産所などさまざまな場における母子保健活動を理解する。また、産後4ヵ月までの母子のアセスメント及び継続ケアについて関係職種と連携できる能力を養う。

II. 目標

1. 地域において、母子保健サービスが提供されるしくみと助産師の役割を理解できる。
2. 乳幼児健診、家庭訪問、学級活動を通して、母子保健事業の実際が理解できる。
3. 地域母子保健活動における保健・医療・福祉の連携を理解し、助産師の役割が考察できる。
4. 助産師が地域における母子保健の上で果たしている役割を理解できる。
5. 助産所の経営と管理を学び、助産業務管理について考察できる。

III. 実習施設

保健所：岡山市保健所

市町村保健センター：総社市役所、津山市役所

助産所：かねこ助産院、たんぼぼ助産院、うちかど助産院

IV. 単位数および時間数

2単位 90時間

V. 教育内容

1. 地域母子保健活動の展開の実際
2. 訪問指導の実際
3. 乳幼児の健康診査と保健指導の実際
4. 助産所における助産ケアと管理の実際
5. 地域母子保健活動における多職種連携
6. 地域における妊娠期から産褥4ヵ月までの継続した母子と家族への支援の実際

VI. 実習目標・行動目標・実習内容

実習目標	行動目標	実習内容
<p>1. 地域において、母子保健サービスが提供されるしくみと助産師の役割を理解できる。</p>	<p>1. 地域特性を理解し、母子保健ニーズを考察できる。</p> <p>2. 母子保健行政と地域の母子保健施策の関連を理解できる。</p>	<p>1. 地域特性を理解した母子保健ニーズの考察</p> <p>1) 地域特性の理解（地区診断）</p> <p>(1) 地域の概況</p> <p>(2) 地域医療の状況 周産期医療体制 医療機関の機能、位置、救急時の連携 搬送システム</p> <p>(3) 母子保健施策の状況</p> <p>(4) 母子保健統計からの考察 出生数・妊産婦死亡・周産期死亡・死産などの統計の動向と推移 ※全国と岡山市、総社市、津山市および岡山県内での比較など</p> <p>2. 母子保健行政と地域の母子保健施策の関連</p> <p>1) 健やか親子 21 と母子保健事業</p> <p>2) 事業体系と根拠法律、財源</p> <p>3) 母子保健に携わる職種と役割</p> <p>4) 子育て世代包括支援センターの機能、役割</p> <p>5) 母子健康手帳交付時の面接の実際</p> <p>6) 育児支援活動の意義と目的</p> <p>7) 地域の子育て支援グループにおける助産師の活動</p>
<p>2. 乳幼児健診、家庭訪問、学級活動を通して、母子保健事業の実際が理解できる。</p>	<p>1. 乳幼児健康診査の実際が理解できる。</p> <p>2. 訪問指導の意義・目的・指導の実際が理解できる。</p>	<p>1. 乳幼児健康診査(3～4 ヶ月、1才6 ヶ月、3才)</p> <p>1) 根拠法律、自治体の事業計画の概要</p> <p>2) 各健診の意義・目的</p> <p>3) 乳幼児の成長発達の特徴 とくに生後4 ヶ月までの成長発達</p> <p>4) 基本的な問診、発達診査の方法、保健指導</p> <p>5) 児の養育状況と子育ての悩みの内容</p> <p>6) 健診後の多職種カンファレンス</p> <p>7) フォローアップシステム</p> <p>2. 訪問指導</p> <p>1) 訪問指導の意義・目的・指導内容</p> <p>2) 訪問指導の種類、根拠法律</p> <p>(1) 妊婦訪問、新生児訪問（養育支援）</p> <p>(2) 低出生体重児訪問</p> <p>(3) 乳幼児全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）</p> <p>(4) ハイリスク妊産婦連絡票による訪問</p> <p>3) 訪問指導後の評価、情報共有、方針決定</p>

	<p>3. 学級活動の意義・目的・指導内容が理解できる。</p>	<p>3. 学級活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 集団指導 <ul style="list-style-type: none"> 母親学級、両親学級など 1) 各種健康相談 2) 個別相談による指導 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各種相談 <ul style="list-style-type: none"> 思春期、更年期、性感染症予防、高齢者健康相談、子育て支援・育児相談、離乳食、幼児食講習会等 (2) 電話相談 (3) 面接指導 <ol style="list-style-type: none"> ① 母子健康手帳の交付時の保健師による面接 ② 要支援妊婦への面談
<p>3. 地域母子保健活動における保健・医療・福祉の連携を理解し、助産師の役割が考察できる。</p>	<p>1. 地域母子保健活動における保健・医療・福祉の連携を理解し、助産師の役割を考察できる。</p>	<p>1. 地域母子保健活動における保健・医療・福祉の連携</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 関係機関の連携 <ul style="list-style-type: none"> 保健所、医療機関、助産所、産後ケアセンター 市区町村子ども家庭総合支援拠点、要保護児童対策地域協議会、児童相談所、子育て支援機関 障害児支援機関 2) 関係職種との連携 <ul style="list-style-type: none"> 医師、保健師、助産師、看護師、社会福祉士 精神保健福祉士、その他の専門職 3) 母子保健事業と助産師の役割 <ol style="list-style-type: none"> (1) 産前・産後サポート事業 (2) 産後ケア事業 (3) 産婦健康診査事業 (4) 女性健康支援センター事業 4) 児童虐待の予防 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもを守る地域ネットワークの整備 (要保護児童対策地域協議会) (2) 医療機関と保健機関の連携 「要養育支援者情報提供票」 (3) 助産師の役割
<p>4. 助産師が地域における母子保健の上で果たしている役割を理解できる。</p>	<p>1. 地域における助産師の役割と活動の実際を理解できる。</p>	<p>1. 地域における助産師の役割と活動の実際</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域における助産所の位置と地域特性 2) 地域住民のニーズとの関連 3) 業務の実際 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学級活動、子育て交流会、両親学級、性教育健康教育 (2) 妊産褥婦・新生児の管理 (3) 分娩の取扱い、育児の指導、訪問指導（家庭訪問）、子育て支援事業 など (4) 助産所における医療安全管理体制 <ol style="list-style-type: none"> ① 助産業務ガイドライン、転院・搬送先の対応と報告 ② 記録の整備と管理、薬品の使用と管理

		<ul style="list-style-type: none"> ③医療機器の整備・運用・管理 ④安全確保のための体制と手順、説明と同意、賠償保険加入
<p>5. 助産所の経営と管理を学び、助産業務管理について考察できる。</p>	<p>1. 助産所の経営と管理を理解し、助産業務の管理について考察できる。</p>	<p>1. 助産所の経営と管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 無床助産所と有床助産所の相違 2) 助産所入所選定基準 3) 助産所の構造・設備 <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療法に規定された基準との照合 4) 職員構成とその管理 <ul style="list-style-type: none"> (1) 構成メンバーと業務分掌 5) 関連職種、関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保健所、病院、学校、市町村役所、福祉事務所他 (2) 周産期医療ネットワーク (3) 開業助産師とオープンシステム 6) 嘱託医の選定と連携 <ul style="list-style-type: none"> (1) 選定の条件、連絡方法、約束指示・処置など (2) 嘱託医、嘱託医療機関との合意書 (3) 助産業務ガイドラインによる医師との協働管理 7) 助産業務におけるリスクマネジメント <ul style="list-style-type: none"> (1) 助産所における助産業務と安全管理 (2) 新生児の安全管理 (3) 感染対策 (4) 災害対策（平時・災害時） 8) 経営管理 <ul style="list-style-type: none"> (1) 財政的側面 (2) 事故への対応と損害賠償